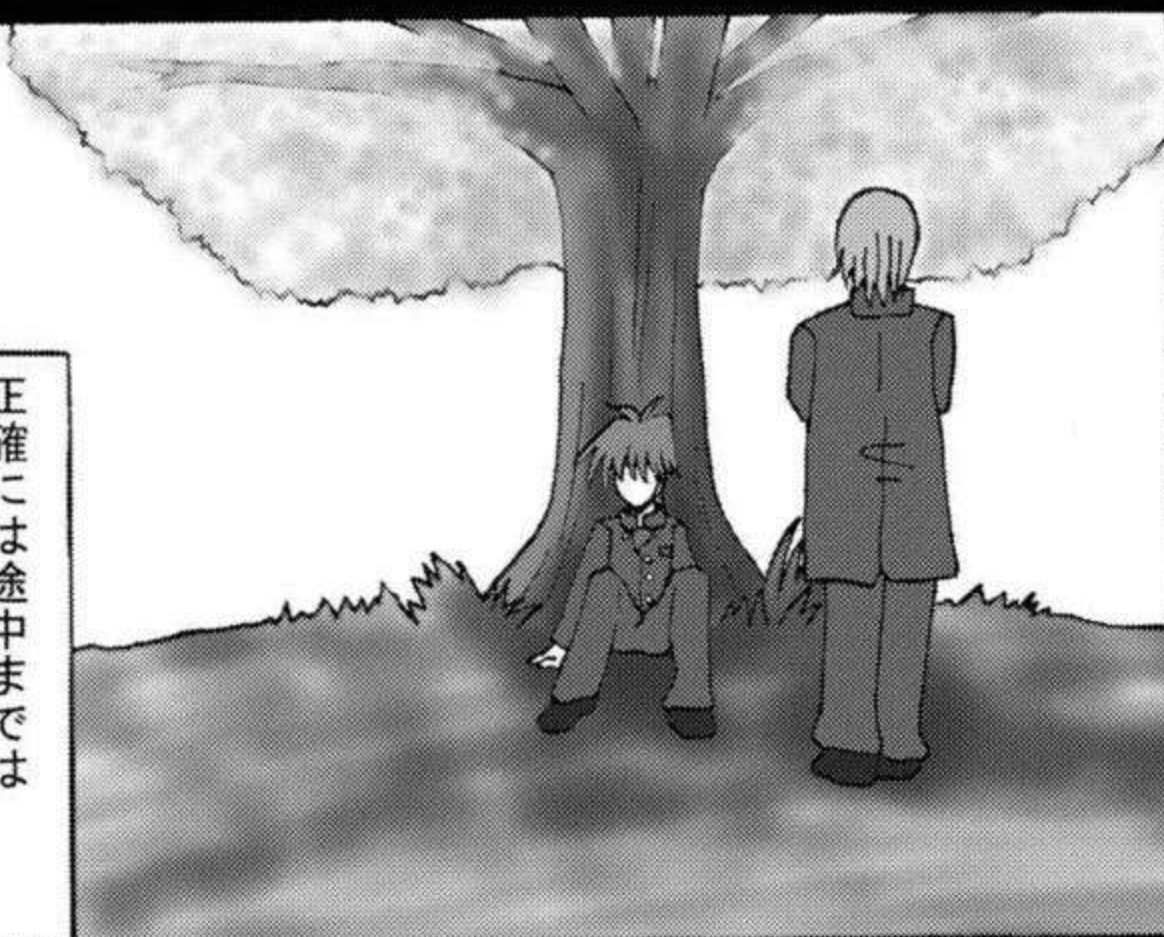


成人向け



D.C.
DESPAIR CROSS INTEGRAL

本校に進学できず
退学が決まっていた
俺たちは卒業式のあと
行われるパーティーに
参加せず、桜公園を
ぶらぶらとしていた・
・
・



正確には途中までは
いたのだが、体育館で
開催されていた
コンテストでおこった
光景を見て、何もかもが
嫌になり学園を去って
きたのだったが・
・
・

くそお・純一のヤツ
あんな大勢がいる前で
白河ことりとキスする
なんてよお・
ムカツクぜ・
まったく


こっちは進学できねえで
退学だったのに
いい気なモンだぜ・
・

あの後、純一を
シメようとして
追いかけたけど
うまく逃げられた
からな・
・
・

このまま引き下がるんじゃ
気分が悪いからな・
なんかアイツを陥れる
方法はないのかよ・
・

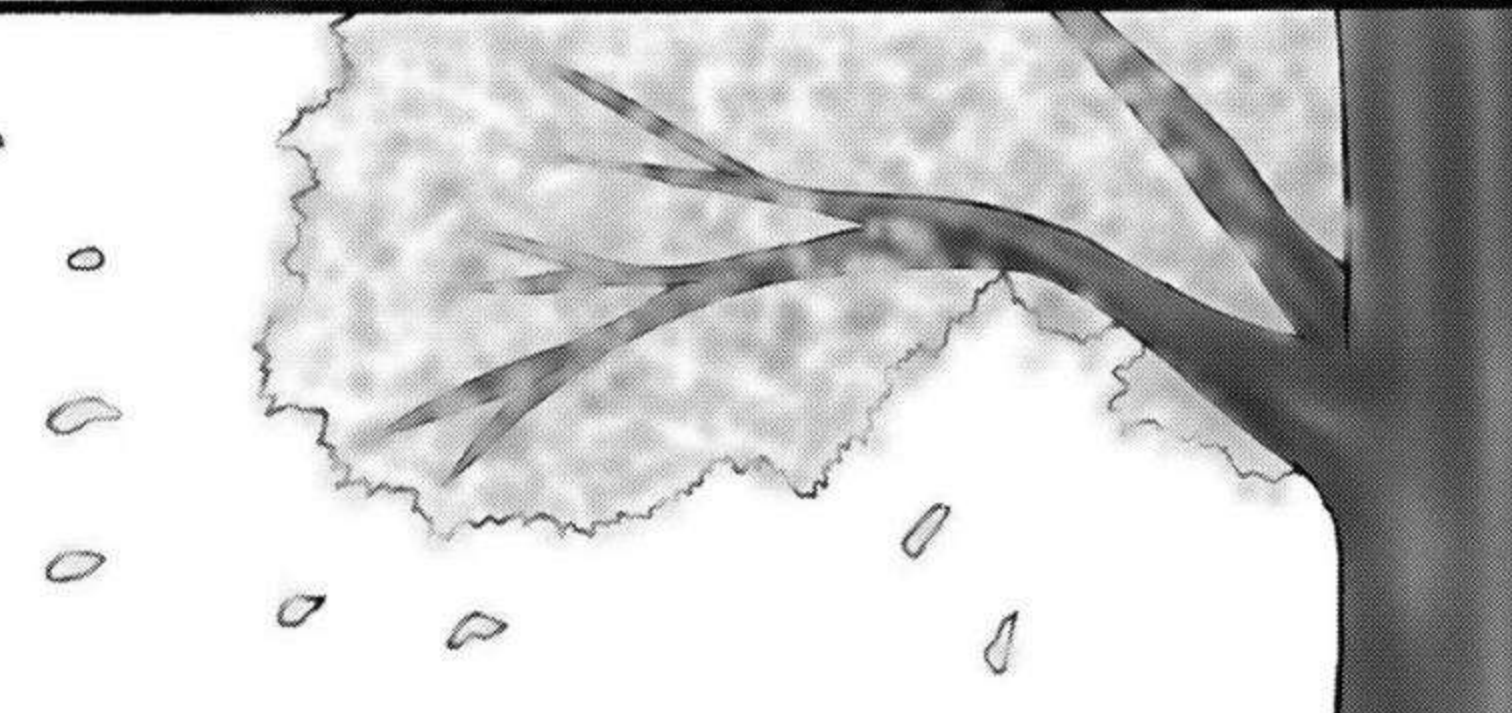


そうだな・
単にヤツをいたぶった
だけじゃ面白くない
からな・
もっと別に・
・




そうだ・・アイツには妹が
いただろ・・
ヤツの代わりにソイツを
俺たちで捕まえるってのはどうだ？
純一のことをダシに使って
脅迫すれば色々楽しめるん
じゃないか？



・・・なんて、そんなこと
したら退学よりとんでもない
目に合うだろうな・・・
はははははは・・・



その時・・・
目の前に立っていた桜の木
が強い風にあおられ
花びらをひらひらと
落とし続けた・・・



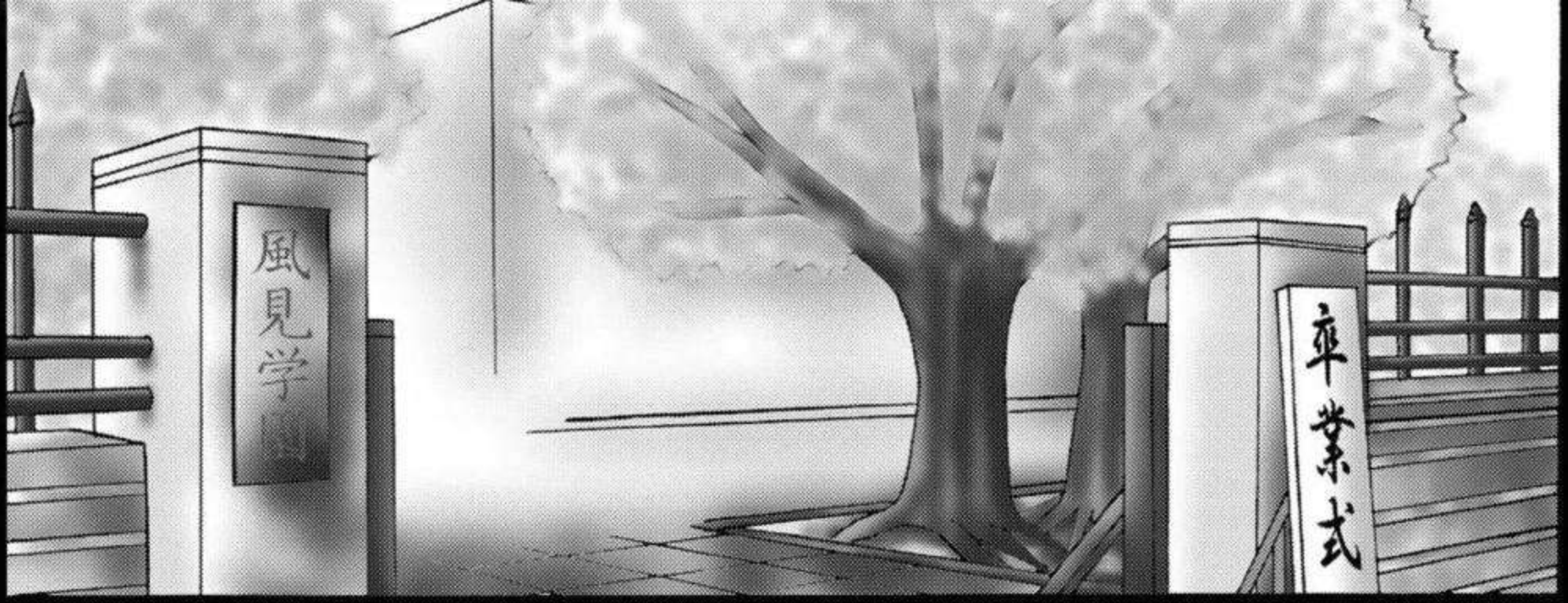
こうして俺たちの
陵辱劇が幕を
開いたのであった・・・



そして俺たちの中に
強烈な欲望と残虐な心、
これから行うであろう
行為への緻密な策略が
飛び込んできた・・・



DESPAIR CROSS : INTEGRAL



兄さんが白河さんと・・・

やっぱり兄さんは
白河さんのことが
・・・



うっ・・・
んんんんッ




い・いやっ
ちよ、ちよっと
離してくださいッ

おらっ
何でもいいから
こっちに来いよッ


ど、どうしちゃったん
ですか皆さん・・・
何で急にこんなことを

どうもこうも
ねーんだよっ
音夢ちゃん・・・



あ・あ・あ
ああッ


おめえんとこの兄貴が
俺たちのことりちゃんとよりによって
みんなの前でキスシーンを
見せつけやがったからな……



その腹いせが
妹のおめえまで回って
きてんだよッッ

おらッッ
くわえろよッッ

ううッッ
うぶっ……



ん・ん・ん
んッッ……

かわいそうにな……
バカな兄貴をもつと
大変だな音夢ちゃん……



うっ
うっ
うっ

何やっつてんだよッ
ちやんと喉の奥まで
しっかり入れろよッ



ふわあつ
はああッ

よおしっ
そろそろイクからなっ

あッ
い
ああ

もうッこんな
いやああ・・・
いやだよおッ

おっと、こんなんで
済むと思うなよ・・・
兄貴の罪は
重いんだからな

その罪を償って
やるには
やっぱり・・・

下の口での
ご奉仕
だよな・・・

えッ!?
なっ何を
・・・

おいつなんだよ
コイツもう濡れてん
じゃねーか・・・

おや、これは
かわいいピンクの
パンティだねえ

いやあ
・・・

へっ・・男のチンコ
啞えて濡らすなんて
変態だなっ・・・
遠慮なく挿入れさせて
もらうぜっ

いっ・・いやあああッ
や・・やめてくださいッ・・

あッ・・・
い・・痛ッ

あああッッッ

ぐんぐん

あうっ・・・
はあああッッッ

ははははっ・・
おいっどんな感じだよ
初めてのチンコの味は
ッ？

い・・痛いッ
痛いよおおッ

もうダメエツツ
や・・やめてええ

悪いがこっちは
気持ちよくて
やめられねえんだよツ

さすが処女のマンコは
きつくて最高だぜツツ

ひぐうううっ・・・
いっ・・痛ああああ
ああああツツツ

おらおらどうだっ
もっと泣き叫べよっッ
その顔を見てるとこっちは
嬉しくてしようがないぜ

あっ・・・ああっ
いたっ・・・
痛い・・・やっ
やめてえ・・・

よおおしツそろそろ
記念すべき中出し一発目
いくぞツツツ

えっ・・・な、
中って・・・
ま・・・まさかつ

ニョ
ニョ
ブッ
ブッ

いやあツツ
な、中はダメええツツ
お……お願いツツ

どうせこれから
何発も出されん
だから関係ねえん
だよバカツツ!

ほらツツ
いくぜツツ

あ……
ああツツ
あああああ……

ははああ
...

も...もう
ゆるして...

おいおい、
冗談言ってる
じゃねえぞ？

まだまだ後ろで
やってねえ奴が
チョコ出して
待ってんだよッ

うん……うん……
うん……うん……

いいなツ？
さつきみたい
に下手なしゃぶり
方したらぶん殴
るからなツ

うん……おおお

おいッ、
聞いてんのかよツ？
全然出来て
ねえしゃねえかよ
ええツツ？

うん……うん

仕方ねえ……
そろそろイって
やるか……

よし……
今度はバックから
いかせて
もらうぜッ

くちゅ

え……?
い、いやああッッ!

おらみみみみ

ああああああ
ああああああッッッ



い、痛ッ……
あッ……ああッッ



おいおいっ
もう処女じゃねえんだから
痛がつてるヒマなんで
ねえんだよッ
ほら、啜えろよッ

ん……んん



はははっ
前と後ろで同時に
味わうチ○コは
最高だろッ!

んんん……
んんん……
んんん……



よおし、次はタマを舐めてみるツツ
いいかその後は口を使って
吸い付くんだッ



さあ、しっかりとご奉仕しろよッ
ただじゃぶるだけじゃなくて
チ○コのカリの裏を舐め上げるんだよッ



かはっ
げほっ……



うっツツ……イクっ
へっ……やれば
出来るじゃねえか
コイツ!

あはっ……ああッ
はああああッ

さあ、音夢ちゃん後ろのほうも
そろそろイクからなっ
また中出しされる覚悟を
しておくんだなッ

え……中……出しッ？
いやっ……
これ以上はッ……
ホントに赤ちゃんが
できちゃ……あぁッ

うるせえなッ！
さつきから何度も
言ってるように
これからずっと
全部中出しされ
続けるんだよッ

いやっ……いやっ
やめてッ……お願いッ
お願いしますッ……
ああああッ

も……もう
こんなことは
やめて……
下さい……

けっ……
今さら何言っても
無駄なんだよッ
さあ、続きをやるぞ……

よし……
言ったな……

え……？

お願いです……
他のことなら何でも
しますから……



白河「とりをここに連れて来い……」

えッ……
そ、そんな……



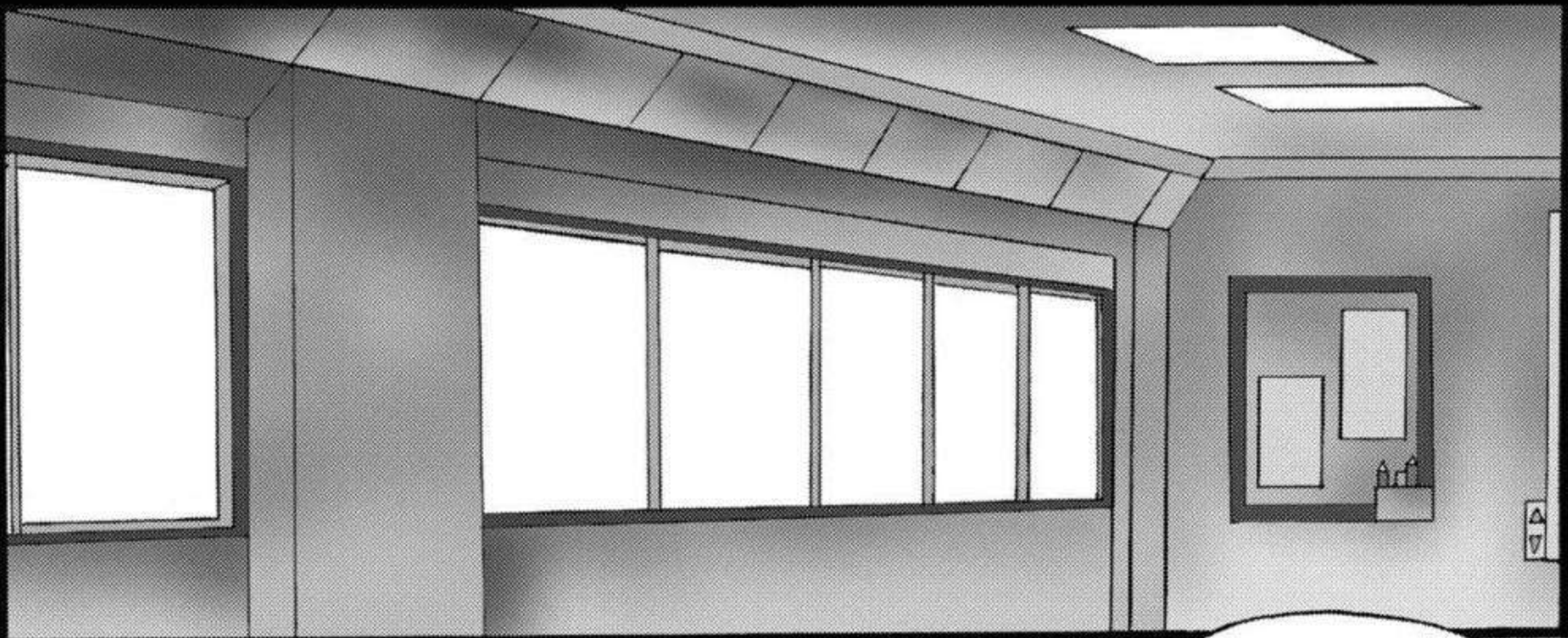
……

私わは……



さっき言ったことにウソは無いよな？
でなければ純一の奴を捕まえて半殺しの刑にするからなッ！

さあ……
どうするんだよッ
音夢ちゃん





……

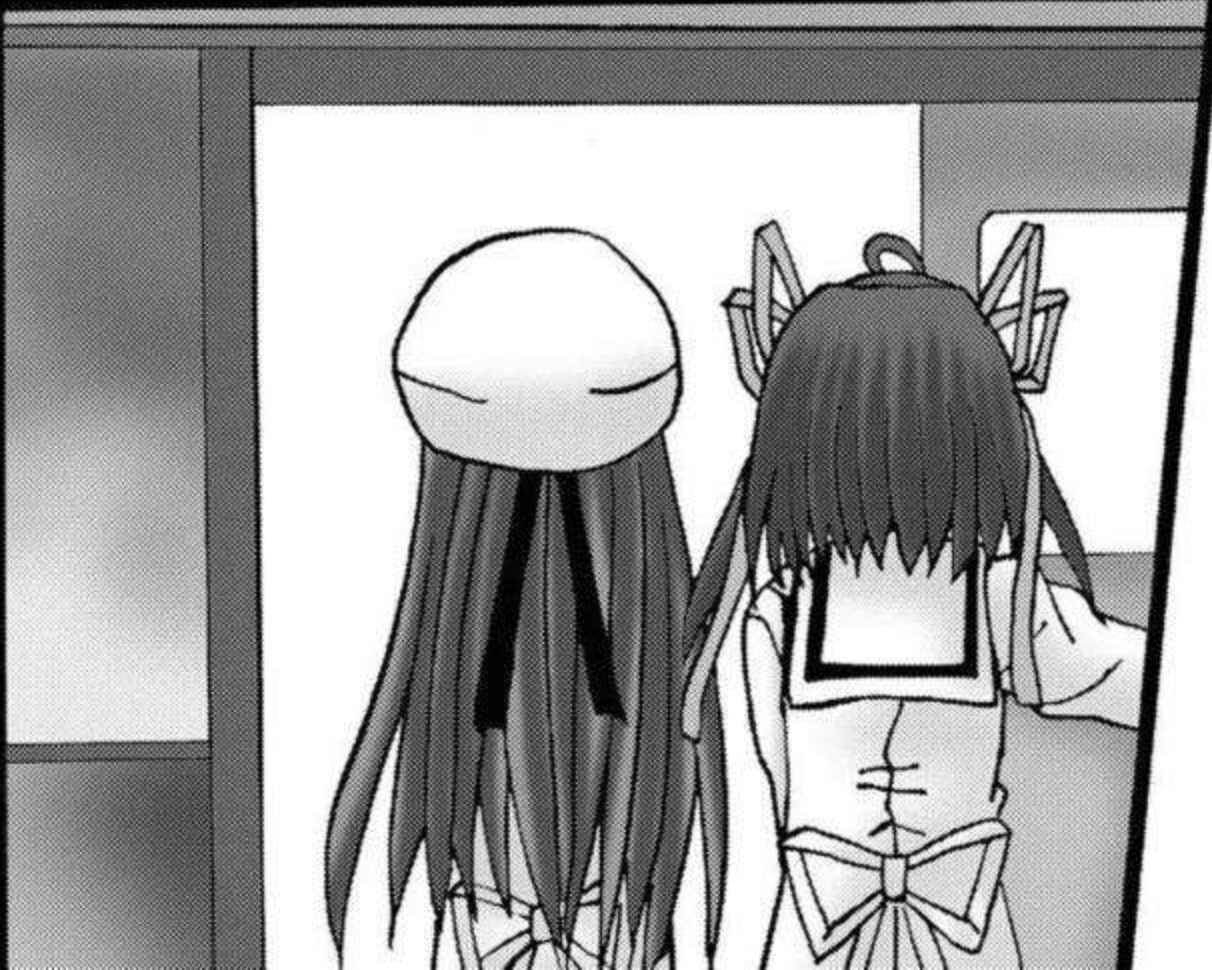
ダメ……
ダメ……



あ……
はい

それじゃ私も
参加しちゃいますんで
場所案内してくださいっ

?

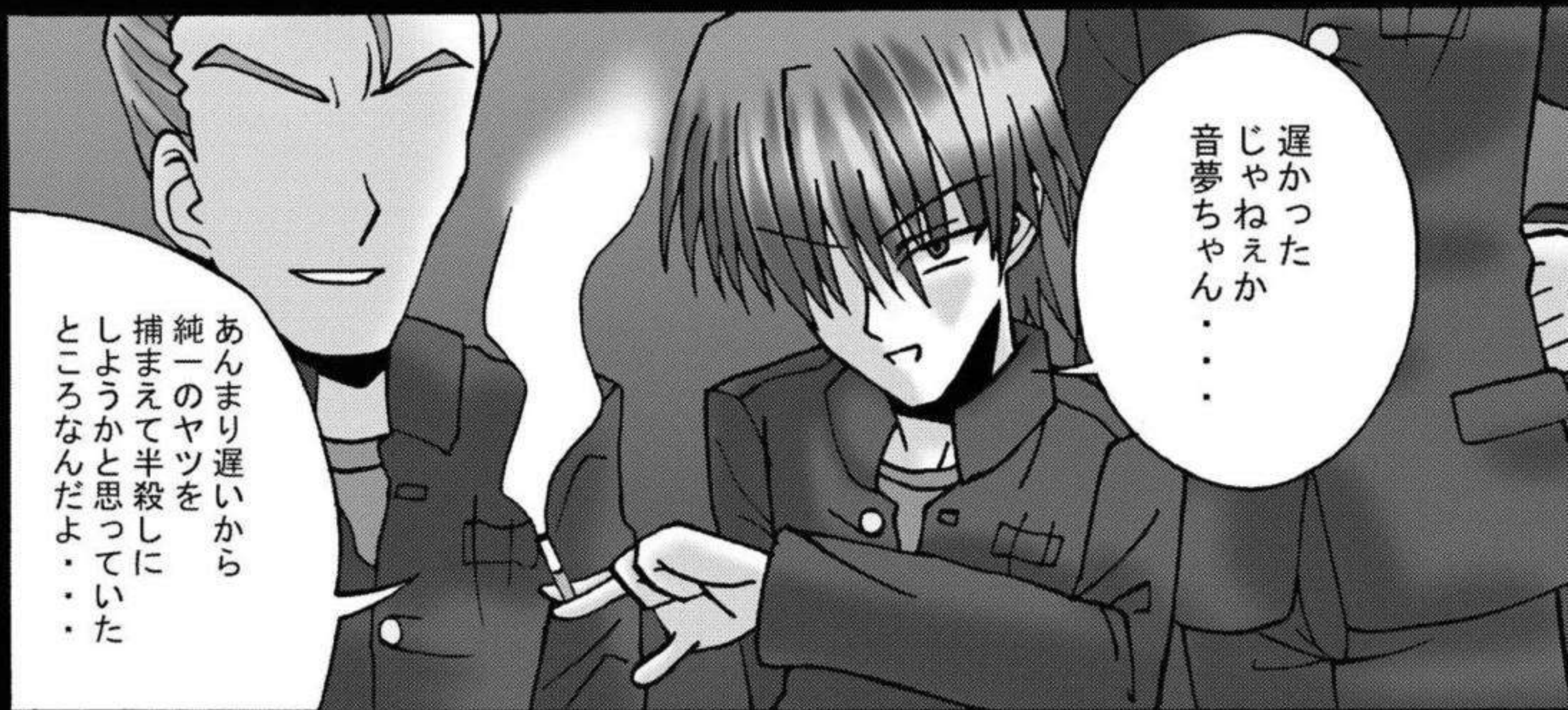


とうとう白河さんまで
巻き込んでしまって……
私はもう戻れない道に
進んでしまっているんだ



!!?

ドキッ



あんまり遅いから
純一のヤツを
捕まえて半殺しに
しようかと思ってい
たところなんだよ...

遅かった
じゃねえか
音夢ちゃん...



も...
申し訳ありません

音夢...さん?

まあいいや
ホントに
ことりちゃんを
連れてこられたん
だからな...

これで思う
存分楽しめる
ってワケだ...

よかったな音夢ちゃん
もう一人だけで
犯されずに済むぞ
はははははッ

あのー
卒パの二次会をやる
という雰囲気では
なさそう
なのですが・・・

もしかして
私を驚かせる
冗談・・・とか
ですよね・・・？

き
・
・
・
つ
っ

えっ・・・？
い、いやあああッ

や、やめて
くださいッ

こ、こんなこと
ウソですよね・・・
あああッ

あんなあッ

ごめんなさい
白河さん……
私……わたし……

私が逆らったら
この人たちに兄さんが
捕まっちゃうんです
・
・
・

白河さんを騙すこと
になるけど、それでも
兄さんを助けたかった
だって私は兄さんのこと
が
・
・
・

へへ・もうおとなしくしろよ
わめいたって誰も
助けなんかこねえからよっ

おやあ・
学園のアイドルが
こんなエロい黒下着を
穿いていたなんて
驚きだなあ・
・
・

あつ・ああ
ダ・ダメエ

ああつ・
い、いやあああ

んんんッ
んんんッ

やればできるじゃねえか
学園のアイドルにしゃぶって
もらうなって最高の気分だぜ

ほらほらっ
しっかり口を使って
吸い上げろよッ

よおおしっ
そろそろ
イクからな
全部口の中で
受け止めるよッッ

ううっ
んんん
うー
ツツ

うええ
げほっ
げほっ
っ
っ
っ

はあ

はあ

こんなん
で泣いて
ちや
しょう
がねえ
んだよ

これから
お楽し
みの
本番
なんだ
からよ



さあ、ことりちゃんの
貴重な処女のマンコに
ぶち込んでやるかッ

いっ……
いやああッ

あ……
ああああッ

うっ……ッ
い、痛あああ

あッ・・・ああッ
い、痛い——ツツツ

はははははッ・・・
白河ことりの処女膜を
突き破ってやったぜっ
どうよっ処女を失った
感じはっ・・へへへッ


おらよっ
俺のチンコモ
啜えろよツツ

うっ……
ぶ……んっ

ははっ……これじゃ
学園のアイドルも
ただの肉奴隷だなっ！

純一のヤツもこんな使い回した
中古のことりちゃんなんて
いらねえんじやねえのかッ
はははははッ

んぐ……うっうっ……
んんん——ん——ツツ



おおツ・・・もうイキそうだツ！
ことりちゃん、このまま臆なかに
出すからなっ・・・いいか覚悟しろよツ


お・・・お願いッ
早く終わらせてえええ
———ツツ

へへ・・・それじゃ
遠慮なくこのまま
射精ガクさせて
もらうぜツツ

ああツ・・・
も、もうダメええええツツツ

あ・・・あ
あああッッッッ・・・





まだこんなもんじゃ
終わらせないぜ……
なあ……音夢ちゃん……

純一が二度と
ことりちゃんと
愛し合えないように
しといて
やっとかねえとなあ

もう処女じゃない
学園のアイドルなんて
なんの意味もないからな……
いくらでも
ポロポロにしていぜ

さあ、やれよ
音夢ちゃん……
やらなきや
わかってんだろうなッ



.....
わかりました

.....



へへ.....
よく言ったな
それでこそ俺たちの
かわいいしもべだぜ.....

ほらっ
コイツで好きなように
ことりちゃんの
オ○ンコを
ズタズタにしてやれよっ



私は
許さない……



白河さん……



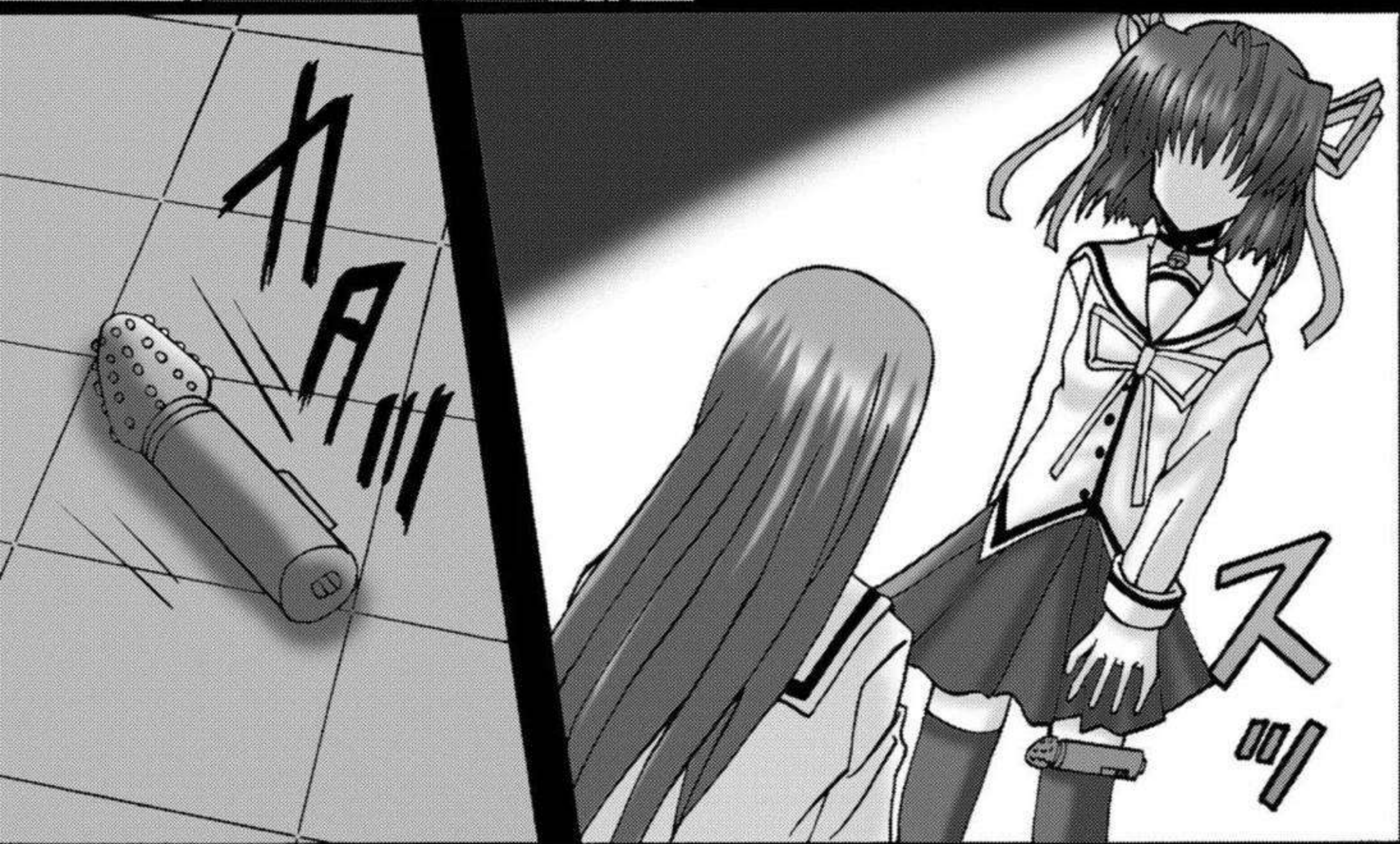
私から兄さんを
奪ったあなたを
絶対に許さないッ

徹底的に痛めつけて
子供の産めないカラダ
にしてやるッッ



もう・・やだよ
なにもかも
終わらせたい・・

兄さん・・たすけて
にいさん・・



もう・・
イヤです・・
私にはできません・・

お願いですから
私たちを解放して
下さい・・

ふーん……
せっかく俺たちが
用意してあげた
シナリオを
止めちゃうんだ……

!!

イヤアアアア
アアアアツツ

44

へへ……
どう犯して
やるかな……

もうこんな
役立たずの女はいらんツ
俺たちに逆らうと
どうなるか
思い知らせてやれツツ

い……いぢミ
あああああミ

そういえば、
アナルはまだ
だったよな……

えっ……？
アナル……って……

そ……そ……はッッ
ダ、ダメエエエッッ

おおッ
いいね……前の穴と
違ってゴツチは
まだまだ締まりが
いいぜッ

45

いッ……
痛あああッッ

はあ

はあ

よし……

それじゃ、俺は
前の方を塞いで
やるとするかな……

そ……そんなッ
もう無理ですッ……
もう入らな……い
……あああ

あが……ッ
あああああああ



あ……ああツツ
痛いッ……
痛いいいいッツ

はははッ……
2本刺しは
効果絶大だなッ
おいつ、
よかつたな音夢ちゃん




あつ、悪いな……
あんまり
激しく突いたモン
だから腸が
切れちまつたな
どうだ痛いか？
はははははッツ

ぐぐぐ……
ジュジュジュ



ニ
ユ
グ
ツ



おらおらっ
仕方ねえから
そろそろイってやる
とするかッッ!

痛いッッ……
助けてッ……
助けてえええッッ



前と後ろの同時の
中出しをしつかりと
味わえよッッッ

ああッッ……いやあ……
いやあ……
もおダメエエエエエエッッ



ほらよっ
仕方ないから
俺たちの手で
マンコをポロポロ
にしてやるよ

くちゅ

いっ・いっ・いやあああ
や、やめてええツツツ

ぐ・ぐ・ぐ・ツ
あ・あがっ・

あああ・ツツ
があああああツツツ

はあっ・
あぐあツツツ

く、くるし・
がはあツツ

ふははははっ・
これが学園のアイドル
だったと思うと
おかしくて
笑っちゃうぜっ

53

お願いしますっ
もうこんなことは
やめてくださいっ

まだ気が済まないなら
私が白河さんの
代わりになりますからっ
・
・
・
もうやめて
くださいっ

白河さんはまだこれから
兄さんと付き合っ
ていくかもしれ
ないんです・
・・・だからっ

だからこれ以上は
やめてくださいっ
・・・
どうかお願いし
ますっ

ド
ザ
ッ

今さらいい子ぶ
ってんじゃねえよっ
・・このクソ女
汚ねえから離
れろよッ

ぐっ
・・・
ああああッ
ッ

俺たちは俺たちの
やりたいように
やるだけだ・
・もう邪魔はさせ
ねえからなっ

ああっ
・・・
そ、そんな
待って
・・・
ッ

もうやめてください
・・・音夢さん

し・・・
白河さんっ・・・!?

私がいけなかったんです
朝倉君と音夢さんのお互いの気持ちを知らずに諦めることができなくて

それでコンテストの最中にみんなの前で告白を
しました・・・

舞台にあがってきた朝倉君にはハッキリ断られてしまいました・・・でも優勝した記念にキスの真似だけさせてもらったんです・・・舞台が暗かったからみんなは本当にキスしたんだって思い込んでしまったみたいですけど・・・

そのことでこの人たちが怒って音夢さんを巻き込んで酷いことをされて・・・そして私を捕まえようと・・・して脅されて利用されたこと

私、人の心の声を聞くことができ、やっと今・・・すべてがわかりました・・・

もう、遅いかもしれませんがごめんなさい

はーはっはっー今さらそんなことがわかってマジでおそいぜツツ

お前たちは既に俺たちに犯されまくった後だからなあ・・・へへへ



ガッ
ガラ



おや？
わざわざこんな
ところに入ってくる
とはなあ……

よっぽど俺たちに
犯されたいようだな
……



やっと見つけたよ……
君たちだね……あの時
桜の木のところに行った
ふたりは……

どうやらボクと君たちの
思いが連動して桜の木が
引き起こした
ことのようにけど
……

確かに音夢ちゃんや
白河さんがお兄ちゃんと
仲良くしているのが
不愉快だ・・・面白くない
って思ったけど・・・

正直こんなヒドイことが
起きるとはさすがに
思わなかったよ・・・

でもボクはまだお兄ちゃんを
諦めたワケじゃないからねっ・・・
音夢ちゃんたちの記憶を戻して
また最初からやり直して
ボクを選ぶまで何度でも
桜の木の魔法を使って繰り返して
やるんだっ・・・

君たちは今、暴れられると
やっかいだからね・・・
とりあえず異次元の空間に
放り込んでおくことにするよ
・・・

俺たちは魔法の力によって
異次元に放り込まれ
その空間を漂い
続けることになった・・・

こうして俺たちの
陵辱劇は幕を
閉じたのだった

永遠にその場を
漂い続けるはずだった
俺たちだったが

意外にもそこから
救い出して
くれたヤツがいた

そうね・・・
あんたたちでいうところには
53年後の未来という
ことかしら・・・

それで助けた代わりに
頼みたいことが
ちよつとあってね

まあ・・・あんたたち
にぴったりの仕事
だと思っよ・・・
フフフフフ・・・

「DESPAIR CROSS: INTEGRAL」

2007年12月31日発行

発行 あじのり

作者 さとうきみあつ

<http://ajinori.hp.infoseek.co.jp/>
ats-u@mpd.biglobe.ne.jp

印刷 栄光様

TO BE CONTINUED

NEXT . . .

「DESPAIR CROSS II :SIDE A」





FOR ADULT ONLY